

「住民説明会及びご意見をお伺いする会」議事録（概要）

主 催：一般社団法人大宜味ユーティリティーセンター

開催日時：令和3年9月22日（水）午後7時～午後8時35分

場 所：旧塩屋小学校跡地体育館

説明者：一般社団法人大宜味ユーティリティーセンター 代表理事 中西康展：欠席
琉球フーズ株式会社 代表取締役 宮本信彦

参加人数：19名（主催者関係者を除く）

趣 旨：旧塩屋小学校内「バナメイエビ養殖事業」の再開申請書の提出についてのご説明、及び、村民の方々のご意見交換会（本住民説明会の開催告知については、令和3年9月3日に、各区の公民館に掲示していただくため配布（大宜味区のみ連絡付かず掲示無し）。

第1 主催者挨拶（中西代表理事）

欠席のため省略。

第2 説明（琉球フーズ株式会社 宮本代表取締役）

- ・今後は、これまでの対面型の説明会形式ではなく、本日のような円座の座談会形式の意見交換会の形として、一時間程度で開催していきたい。また、ご要望に応じて、ご連絡いただければ、形式を問わず個別の対応もお受けしたい。
- ・養殖事業再開の申請を村役場へ提出した。綺麗な地下海水を取水するために新たに設置する地下海水井戸設置も同時に申請した（おおよその位置と仕様などについて説明）。
- ・バナメイエビの現状と将来性について説明。

第3 意見交換会

<住民>

- ・2016年4月に村長の土地に指定管理者になった会社の事務所が決まり、2018年にその会社の名前が一般社団法人大宜味ユーティリティーセンターに変わった事情が腑に落ちない。
- ・指定管理者の募集時には、学校を憩いの場にするようになっており、養殖事業は入っておらず、指定管理者が決まった後、遅い時期に養殖場が出て来た。
- ・旧塩屋小学校に子供達が入ると、怒られたことも有り苦情になっている。
- ・大宜味村の観光資源である旧塩屋小学校をこんなに壊したのは誰なのか。
- ・旧塩屋小学校は村民の憩いの場であり、入札時は今の指定管理者は相応しい会社だと思ったのに、なぜ後から養殖場ができたのか。
- ・学校は立入禁止にされているし、いつも綺麗にすることになっていたが草刈りもされていない。
- ・コロナ禍のせいにされているが、なぜ養殖事業が承認されたのかの説明が無いので、何を説明されても心に響かない。
- ・去年は大宜味村の名前を汚され、二度有ることは三度有るので、再発したら大宜味村は沖縄の恥になる。
- ・こういう内容を琉球フーズ株式会社話すのはおかしいとは思っている。

- ・村役場の人が来ているんだっつらなぜちゃんと話をしないのか → 村役場から説明会の流れを見てくるよう頼まれて来た事情不案内な代理出席が居た。
- ・今まで説明会が何度か有り、良くなっていると思っていたら、これから井戸を掘るなど、環境が一層悪くなっている。
- ・なぜ運動場で養殖事業をするのか。卒業生の皆にとって、この風光明媚な学校は心の故郷である。
- ・運動場だけは使わないで欲しいと何回言っても聞いてくれないのでショックである。

<琉球フーズ株式会社>

- ・中西指定管理者は、今日は東京に居る。琉球フーズ株式会社は、2015 には関わっていないので当時の指定管理者の経緯は分りかねるが、中西個人のことは良く知っていた。
- ・沖縄フェスなどを手伝っていて、ある時、中西からエビの養殖事業の相談が有り、1 億数千万円を投入して開始した。
- ・経験が無くてもシステムにすれば出来るのがこの養殖事業だと分かった。
- ・2019 年夏以降、養豚とエビの養殖について検討を始め、養殖について具体的な計画を作成し、2020 年 2 月に村役場より活用事業の追加申請の指示があったので、3 月に養殖場の申請をし、承認を得、4 月から工事着工した。

<住民>

- ・誰が養殖事業を始めると言ったのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・一般社団法人大宜味ユースティリティーセンター（指定管理者）である。

<住民>

- ・運動場を使って良いと承認したのは、村役場か。

<琉球フーズ株式会社>

- ・村役場が承認したが、運動場は半分を養殖場にして半分は従前通りにおきたいと思った。
- ・養殖事業をする際に、一番の候補は運動場ではなく教室などで小さくやることから考えていた。

<住民>

- ・運動場か教室で実施するという話ではなく、実施すべきでない土地で実施するのがおかしいということを言っているのに、なぜ実施内容をここで話をするのか。
- ・指定管理者の一般社団法人大宜味ユースティリティーセンターが養殖事業をやるべきで、琉球フーズ株式会社がやるなら、村役場はその旨説明すべきである。
- ・コロナだから説明出来なかったというなら世の中警察はいらないということになってしまう。
- ・村役場はちゃんと道理を通さないと、今日の話は実施する方向での話なので納得いかない。

<琉球フーズ株式会社>

- ・琉球フーズ株式会社は事業者なので、住民を集めて止める前提の話をする必要は毛頭無い。

<住民>

- ・今日は琉球フーズ株式会社が話す相手ではないと最初に言ったのはそういうことである。

<琉球フーズ株式会社>

- ・琉球フーズ株式会社が学校で事業を開始するにあたって、何の手続きも踏まずに勝手に突然始めたのではなく、村の広報誌には掲載していたと聞いている。
- ・昨年3月から工事を始め、早期出荷を目指し、そんな中で事故が発生したが、この養殖場の中で病原菌が発生したのではない。

<住民>

- ・輸入の稚エビは危ないと聞いているので、自分達で国内で稚エビを作らないとだめだと思う。
- ・バナメイエビは車エビよりも安くたくさん作れることは理解しているが、今日はそのことを話しているのではなく、養殖事業を学校でやるのがおかしいということを行っている。

<琉球フーズ株式会社>

- ・村役場の話なら話す相手が琉球フーズ株式会社でないことは分っているが、弊社は村役場に養殖事業を承認されたから始めている。

<住民>

- ・議会で承認されたのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・それは分からない。

<住民>

- ・ならば、村役場は学校に養殖場を作るべきではない。
- ・村役場が事業の追加（養殖事業）を承認し、条件として近隣との協調と地域の理解を得なければならないと書かれているが、村役場がどのように調整しているのかが見えてこないから話の食い違いが有る。承認された側は今まで村民の理解を得るような動きをしたのか。
- ・今日も村役場から誰も来ていない。

<琉球フーズ株式会社>

- ・前回の広報誌への掲載は琉球フーズ株式会社が依頼したが、広報誌に掲載するためには締切日に間に合わないことも有るので、今回は公民館掲示で告知した。

<住民>

- ・以前、体育館でエビの試食を頂いた時が説明会だと思っていた。

<琉球フーズ株式会社>

- ・当時は別の主旨のイベントの中での説明であったが、それが説明会だとは考えていない。

<住民>

- ・言葉だけの説明だけでなく、映像など目に見える形で説明してもらえれば分かり易くて良い。
- ・色々な話が出ているが、住民の理解を得られていると思うか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・正確にお答えするのは難しい。

<住民>

- ・村役場は説明会に参加せずちゃんと説明しないから、今までの住民の意見が無視されてきたようなとらえられ方になり、同じ話の繰り返しになる。

<琉球フーズ株式会社>

- ・学校外での養殖事業なら良いが、校内では止めて欲しいと言われていると理解している。

<住民>

- ・そうだと思う。
- ・校外で特産を作るのならそれでも良い。

<琉球フーズ株式会社>

- ・1億数千万円を投入してあるので、要望の通りに、はいそうですかと学校での養殖事業を止めれる立場ではない。
- ・大宜味村で養殖事業をやるなら出資するという投資家が居たから始めることが出来た。
- ・自前の稚魚を作ることも考えている。
- ・弊社の飼育の不手際と飼育環境が招いた病原菌ではなく、病原菌を持った稚エビが検疫をすり抜けたことが大きな問題であると国や県は認めている。

<住民>

- ・そういう場면을写真などで見える形にしてくれれば我々村民は理解出来る。

<琉球フーズ株式会社>

- ・時系列の経過報告は配布済みであるがお持ちでないならお渡しする。

<住民>

- ・それは分かっているが、この場で見える形で説明していただくと皆も納得すると思う。
- ・納得はしない。
- ・納得しないのは分かるが、やったことは分る。
- ・当初、学校でコミュニティーを作ることを国に提出してあるので、宿泊などの最初の計画に戻して欲しい。子供が学校に入って怒られたことも有る。

<琉球フーズ株式会社>

- ・子供を怒った人には、今年の3月に辞めて現在は居ない。

<住民>

- ・中西指定管理者の父親だと思いが。

<琉球フーズ株式会社>

- ・そうである。
- ・蔓延防止措置命令の解除までは、学校内にレッド・イエロー・グリーンゾーンに分けられたので、一部を立入禁止にしていた時もあった。

<住民>

- ・感染事故は運が悪かったとは思いますが、その後の対応として、琉球フーズ株式会社は県に報告書を提出しなかったと聞いている。

<琉球フーズ株式会社>

- ・それは誤解である。

<住民>

- ・エビの病気の問題が大きくなったから説明会を開いたと思ったこともある。
- ・そういう印象が強い。

<琉球フーズ株式会社>

- ・皆さんは結果だけしか見ないので、そういう理解をされても仕方が無いと思う。

<住民>

- ・中西指定管理者はなぜ今日ここに居ないのか。一体何をやっているのか分からない。
- ・養殖事業の予定売上がここで本当に出せるのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・稚エビの仕入れは1回10万尾が普通で、3か月に1回出荷できることが見込めるが、資料の数字はあくまで予想である。

<住民>

- ・過去の住民の意見に対する回答が何も無い。ブローの騒音をどうするのかなど。

<琉球フーズ株式会社>

- ・再開する養殖場では、ブローは使用しない。

<住民>

- ・そういうことを書かないから分からない。

<琉球フーズ株式会社>

- ・ブローのタービンの音については気になっていたが、再開後は24時間回し続けるようなシステムではない。

<住民>

- ・海水井戸のポンプはうるさくないか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・取水ポンプは、取水する時に使用するだけで、後はその水を循環させる。

<住民>

- ・騒音がどのくらい下がるのかを説明すべきだ。

<琉球フーズ株式会社>

- ・後日、設備導入時に、タイミングが合う時に説明したい。

<住民>

- ・今回の説明会の案内は、広報誌掲載に間に合わなかったとのことだが、毎月の区長会で配れば良く、そうすれば情報は村民に知らされるようになっている。
- ・なぜ、今日、中西指定管理者は来ないのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・事前に本日の説明会開催については伝えてあったが、なぜ来ないかは分からない。

<住民>

- ・なぜ同じ会社で分からないのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・同じ会社ではない。

<住民>

- ・そこが不信感になる。それなら又貸しになる。

<琉球フーズ株式会社>

- ・一般社団法人大宜味ユースティリティーセンターの事業の中のエビの養殖事業を琉球フーズ株式会社が実施する位置付けである。

<住民>

- ・そこが村民は理解出来ない。なぜ指定管理者ではない会社の違う人が代表をするのか。全然違う人が入って来た感じがする。
- ・当初に戻さなければならない。
- ・村役場は再度募集をしなければならない。
- ・承認されているとのことだが、誰も理解していない。

<琉球フーズ株式会社>

- ・まだ、何も進んでいない。再開の申請を出しただけ。

<住民>

- ・まだ申請のみなら、皆は延々と反対すると思う。

<琉球フーズ株式会社>

- ・反対する人は一生反対するでしょう。嫌だと思ふ人の気持ちを変えるのは難しいと思う。

<住民>

- ・今日は、日頃から多くの反対意見を聞いている人達が反対の立場の代表で参加したが、それを村役場と話し合うべきなのに今日は村役場が居ないので出来ない。
- ・私も指定管理者の募集に入札し、名桜大学のボート部にも学校を使っていたことになって、地帯の人で学校を守っていくコンセンサスになっていたのに、今の有り様は一体何だ、全国に恥を晒したようなものだ。
- ・地帯の人達で皆の思ふような学校作りに戻してもらいたい。
- ・今日は、話す相手が間違いで、言っても話が通じない。
- ・もし、同じ感染が発生したら、琉球フーズ株式会社はどのような責任を取るのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・一度経験しているので前回よりは速やかな対応が出来ると思う。
- ・国の対応が厳しくなり、病原菌を持つ稚エビを日本に持ち込む可能性は極めて低くなっている。
- ・去年は流出も無かった。
- ・去年は遺伝子検査も通った稚エビを購入した。
- ・去年は着地検査もしたが、その時に県がサンプルを持ち帰らなかったという原因もある。
- ・次はそのようなことにならないように購入先を慎重に選びたい。
- ・国内で稚エビを販売しているところは少ないがその中で選定したい。

<住民>

- ・可能性はゼロではない。
- ・広島県でも発生したのだから、再度発生する可能性は有り、その時は、また大宜味村の名が出て恥の上塗りになる。
- ・車エビ漁協は病原菌が最も心配なので、養殖場に人を入れることは考えられないと言っている。

<琉球フーズ株式会社>

- ・学校以外の土地を使えないか相談したことも有るが、まずは学校で小さい成功体験を作ってくれたら、それを元に他の場所を使える可能性が有ると言われた。

<住民>

- ・それは村長が言ったのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・そうである。

<住民>

- ・今日の説明会で、なぜ承諾したのかなどいろいろ聞きたかったのに、今日は村役場も指定管理者も来ていなくて残念に思う。
- ・一対一ではなく、皆の居る前で説明してもらいたい。

<琉球フーズ株式会社>

- ・今日は、一方的な説明会ではなく、意見交換をしたいと思っていた。

<住民>

- ・中西指定管理者と話した時に、自分は知らないがガジュマルは工事の人が勝手に切ったと言ったのには驚いた。工事の人が勝手に切るなど有り得なく、代表者が命令したに違いない。指定管理者は、全部を人のせいに行っている。
- ・裏門にチェーンをかけている時に、なぜかけるのかを聞いたら、その人はしぶしぶ外した。

<琉球フーズ株式会社>

- ・ガジュマルを折れや取れとは誰も言っていない。

<住民>

- ・ガジュマルの下を掘っていた。

<琉球フーズ株式会社>

- ・下の穴は、フェンスのポールの基礎のために掘り、すぐに埋め戻すことは出来たが、村役場から一切触らずそのままにして埋めないように止められたから穴を放置することになった。

<住民>

- ・再開の承認を得たら、強行突破ですぐに養殖事業を開始するのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・承認が出たら、再開に向けて動き出す。

<住民>

- ・村長の承認が出たら、村民の意見は無かったことになるのか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・逆に聞きますが、反対しているから再開を止めろとおっしゃっているのか。

<住民>

- ・そういうわけではない。

<琉球フーズ株式会社>

- ・承認が出たからと言って、強硬に開始するつもりはないので、そんな言い方は止めてほしい。

<住民>

- ・少し語弊があったと思うが、はっきりしていないことをはっきりさせることが必要。

<琉球フーズ株式会社>

- ・一般社団法人ユーティリティーセンターが始まってから成すべきことがなされておらず、一体何をやっているんだという意見が多いと思う。

<住民>

- ・琉球フーズ株式会社に又貸ししていることが腑に落ちない。
- ・この養殖を始める時に、基礎的な話し合いやちゃんとした流れを作っておくべきであった。
- ・今日の議事録は出るのか。皆で共有する予定であるか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・議事録は出して、お届けする予定である。今日の議事録は各区長宛に届けようと思う。

<住民>

- ・ネットに出ないのか。そちらの会社で出しているのだから。

<琉球フーズ株式会社>

- ・ネットに出せると思う。
- ・事前に議事録を出すとは言っていないので書下ろしは無いが、概要は出せる。

<住民>

- ・議事録は東京などに居る知人など皆が見るので、出してほしい。

<琉球フーズ株式会社>

- ・正確に出そうとすると、発言の意図を確認しなければならないので、意図が違うということになりかねなく、発言者の特定はせずに概要を出すので、違うと思った内容は指摘していただければ追記・訂正する。

<住民>

- ・では、ネットに載るということで良いか。

<琉球フーズ株式会社>

- ・前は事前にネットに載せるという案内をしたが、今回はしていない。今この場で、ご自分の発言は載せてほしくないなどの要望があれば削除するが、掲載するなら今日の参加者の承認が欲しい。

<住民>

- ・ネットに質問コーナーを作ってくれば、そこに内容の間違いは記載する。

<琉球フーズ株式会社>

- ・修正は適宜できる。
- ・いずれにしても議事録は作成する。
- ・10月最終週に再度意見交換会を開催する予定である。

<住民>

- ・次回の意見交換会は、また同じことを琉球フーズ株式会社とやるのか。話をする相手は琉球フーズ株式会社ではない。養殖業者と話しても事業を進めるつもりなので、もう話をしなくても良い。
- ・養殖場をやらないでほしいという意見なので村役場などと話をしたい。

<琉球フーズ株式会社>

- ・琉球フーズ株式会社は事業者なので、やらない主旨の話をして時間無駄だと考える。

<住民>

- ・私達も同じ考えである。
- ・原点に戻してくださいということを行っている。
- ・原点に戻す話をする相手は琉球フーズ株式会社ではないから、相手が違うと言っている。
- ・私達も被害者であり、ある意味琉球フーズも被害者だと思う。
- ・業者は進める方向の話なので、今後その話で呼ばれても来ない。
- ・学校活用の募集をした時の元々の話に戻して欲しいので、その話なら来る。

<琉球フーズ株式会社>

- ・次回は10月の月末頃を予定し、公民館に掲載しようと考えている。

<住民>

- ・その時は、村長・副村長・村の担当者・各区長も呼んで欲しい。

<琉球フーズ株式会社>

- ・声はかけているが、参加如何は分からない。一般社団法人大宜味ユーティリティーセンターが任意で開催しており、開催する旨は事前に村役場などには伝えている。村役場から開催するよう言われているのではない。

<住民>

- ・りょうかい。

以上